



平成26年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日 東

上場会社名 K L a b株式会社 上場取引所  
 コード番号 3656 URL http://www.klab.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 真田 哲弥  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理部長 (氏名) 高田 和幸 (TEL) 03-4500-9077  
 定時株主総会開催予定日 平成27年3月27日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 平成27年3月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期	21,374	1.8	2,163	—	2,564	—	1,793	—
25年12月期	20,993	—	△1,223	—	△941	—	△2,563	—
(注) 包括利益	26年12月期		1,754百万円 ( —%)		25年12月期		△2,602百万円 ( —%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26年12月期	52.15	50.21	27.6	23.9	10.1
25年12月期	△93.58	—	△74.7	△13.4	△5.8
(参考) 持分法投資損益	26年12月期	32百万円	25年12月期	△12百万円	

(注) 平成25年12月期より連結財務諸表を作成しているため、平成25年12月期の対前年同期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期	12,731	9,075	70.8	249.71
25年12月期	8,697	4,007	45.5	124.07
(参考) 自己資本	26年12月期	9,019百万円	25年12月期	3,953百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年12月期	2,824	△911	523	7,242
25年12月期	△1,316	△2,507	6,363	4,512

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 平成27年12月期の連結業績予想 (平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第1四半期	5,600	26.5	700	628.4	600	463.5	259	406.8	7.17

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
 新規 一社（社名）—、除外 1社（社名）メディアインクルーズ株式会社
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期	37,291,500株	25年12月期	33,058,600株
② 期末自己株式数	26年12月期	1,174,000株	25年12月期	1,189,600株
③ 期中平均株式数	26年12月期	34,387,585株	25年12月期	27,396,892株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成26年12月期の個別業績（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期	20,215	18.3	2,604	—	2,858	—	1,593	—
25年12月期	17,093	12.4	△775	—	△730	—	△2,791	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年12月期	46.35		44.63					
25年12月期	△101.88		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
26年12月期	12,374		8,790		70.9		242.95	
25年12月期	8,262		3,882		46.4		120.42	

(参考) 自己資本 26年12月期 8,774百万円 25年12月期 3,837百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績・財政状態に関する分析（1）経営成績に関する分析 3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	3
2. 経営方針 .....	5
(1) 会社の経営の基本方針 .....	5
(2) 目標とする経営指標 .....	5
(3) 中長期的な会社の経営戦略 .....	5
(4) 会社の対処すべき課題 .....	6
3. 連結財務諸表 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	19
(重要な後発事象) .....	20

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

## (1) 経営成績に関する分析

平成26年12月期連結会計年度の業績

項目	前期 (12ヶ月換算)	当期	前期 (16ヶ月)	前期比 (12ヶ月換算比較)
売上高	15,745,097千円	21,374,646千円	20,993,462千円	35.8%増
営業利益又は 営業損失(△)	△917,643千円	2,163,572千円	△1,223,523千円	—
経常利益又は 経常損失(△)	△706,386千円	2,564,028千円	△941,847千円	—
当期純利益又は 当期純損失(△)	△1,922,869千円	1,793,239千円	△2,563,825千円	—

## ①業績の分析

## 1) 売上高と営業利益の分析

- 第15期連結累計期間の売上高は21,374,646千円、営業利益は2,163,572千円となり、売上高は前年同期比(注1)35.8%の増加となりました(注2)。また、この売上高は、創業来の過去最高となりました。

(注1) 前期は決算期変更を行ったため16ヶ月決算となっていました。前期比の計算に当たっては、前期実績値に対し12/16を乗じて12ヶ月換算した数値で計算しています。

(注2) 前期は営業利益赤字であったため、営業利益の前期比は記載していません。

- 売上高の増加要因は以下のとおりです。

- ・「ラブライブ!スクールアイドルフェスティバル」が躍進。特にラブライブ!アニメ2期の放送の影響もあり、第2四半期以降大きく売上を伸ばし、売上増加に貢献。

- ・今期に新規リリースした「テイルズオブアスタリア」及び「天空のクラフトフリート」も堅調な売上を計上。

- 費用面では、期首に開示した計画の通り全てのコストの見直しを実施しました。

- ・人員数については、2014年3月末時点で期首計画の830人規模までの人員削減目標を達成。2014年12月末時点には2013年12月末時点に比べ153人減の813人まで削減を実施。

- ・国内子会社の整理統合を実施。これに伴い経理や人事等の共通部門を統合し間接費用を削減。

- ・本社オフィスの縮小、及び海外拠点・地方拠点のオフィスの整理縮小を実施。これにより賃借料等の固定費を大きく削減。

- ・外注費については、昨年度に引き続き更なる削減に取り組み、ピーク時(2013年12月期第2四半期)に比べ2014年12月期第4四半期で73.4%の削減を達成。

- 営業外収益として為替差益291,081千円を計上しました。これは当社グループが保有する外貨建債権債務に関して、当期末時点の為替相場で評価替を行ったことにより発生したものです。

- ソフトウェアの減損処理等を行ったことにより、特別損失805,421千円を計上しました。

2) セグメント別の業績は、以下のとおりです。

ゲーム事業

セグメント売上高	21,316,937千円
セグメント利益	6,854,701千円

その他事業

セグメント売上高	57,708千円
セグメント利益	7,697千円

3) 連結業績予想に関する定性的情報

①平成27年12月期業績見通し

当社グループの属するモバイルオンラインゲーム業界は、ヒット作の有無により大きく業績が変動いたします。現時点において、平成27年12月期の業績見通しを見積もることは困難であるため、平成27年12月期（通期）の業績見通しは開示いたしません。

なお、平成27年第1四半期の業績見通しは以下のとおりとなっております。

売上高	5,600百万円
営業利益	700百万円
経常利益	600百万円
四半期純利益	259百万円

上記に記載した将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な不確定要素により変動する可能性があります。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は12,731,335千円となり、前連結会計年度末と比較して4,033,700千円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の増加によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における総負債は3,655,462千円となり、前連結会計年度末と比較して1,034,775千円減少いたしました。これは主として、短期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は9,075,873千円となり、前連結会計年度末と比較して5,068,475千円増加いたしました。これは主として、資本金、資本剰余金及び利益剰余金の増加によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2,730,229千円増加し、7,242,539千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、2,824,592千円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益による収入1,777,383千円等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、911,549千円となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出849,563千円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は、523,717千円となりました。これは主に短期借入金の増減による支出2,750,000千円、株式の発行による収入3,150,770千円等によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成23年8月期	平成24年8月期	平成25年12月期	平成26年12月期
自己資本比率	51.8%	55.2%	45.5%	70.8%
時価ベースの自己資本比率	—	225.2%	293.9%	370.2%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.49	0.08	—	0.03
インタレスト・カバレッジ・レシオ	106.1	1,154.7	—	478.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 平成25年12月期以降の各指標は、連結ベースの財務数値により算出しております。平成24年8月期以前の各指標は、単体ベースの財務数値により算出しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は(連結)貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(注5) 平成25年12月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオにつきましては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載を省略しております。

## 2. 経営方針

### (1) 会社の経営の基本方針

当社グループは「世界と自分をワクワクさせろ！」のビジョンのもと事業を進めて参ります。

### (2) 目標とする経営指標

当社グループが重視している経営指標は、売上高および営業利益であります。売上高および営業利益を継続的に成長させることにより、企業価値の向上を実現して参ります。

### (3) 中長期的な会社の経営戦略

世界のスマートフォン端末の普及率は成長を続けており、今後は新興国でも本格的な普及期を迎えると想定されます。また、機能的にも進化し続け、ウェアラブルコンピュータなどへと発展していくものと思われます。それにより、スマートフォンを活用したサービスやアプリケーションの市場はまだまだ拡大し続け、新しいサービスが次々と生まれるものと思われます。

当社グループの長期戦略は、市場の成長を自社の成長機会として取り込み、世界をターゲットにした革新的なサービスやアプリケーションを生み出していくことです。

スマートフォン関連市場は、中期的には、モバイルオンラインゲーム(MOG)が牽引していくと思われます。当社グループも中期的にはMOG事業を中心として事業展開を図ります。

ゲームビジネスは当たり外れのボラティリティが大きいため、ゲームカテゴリーやゲームロジック、世界観、開発規模などにおいて異なるタイプのゲームを組み合わせるポートフォリオを組み、全体で一定以上の成果を継続的に出せることを目指します。特にMOG市場ではゲームトレンドの変化が早いいため、定期的にポートフォリオの見直しを行っていきます。

#### (4) 会社の対処すべき課題

当社グループが、現時点で認識している課題は、以下のとおりです。

##### 1. ヒット率の向上

当社グループの企業価値拡大のためには、モバイルオンラインゲームのヒット確率を上げ、収益の拡大・安定化が重要な課題であると認識しています。

この課題への対応としては以下のものを考えています。

- ・ゲームタイトルを厳選し、リリースするゲームタイトル数を絞る
- ・タイトル数を絞ったうえで開発方法については、2014年度に変更したゲーム開発方針(プロトタイプ開発で面白さを確認するアジャイル型開発)に従い開発を実施
- ・今後ヒットしそうなゲームカテゴリーを見極めたうえでゲームタイトルの企画を行う。直近では協力対戦型ゲームや更にそれを進化させた新しいゲームカテゴリーのゲームタイトルの企画を行う
- ・世界で通用するIPの獲得、既存ゲームと他社IPとのタイアップを推進
- ・自社企画・開発のゲームタイトルは絞る一方、パブリッシング事業にてリリースタイトル数を増加させ安定的な収益を獲得

##### 2. 海外展開の強化

スマートフォン市場が世界規模で拡大を続けており、これに伴いモバイルオンラインゲーム市場は今後さらに拡大していくことが予想されます。当社グループがより一層事業を拡大していくためには、今後大きく拡大していく海外市場に対して積極的に事業展開を進めていくことが重要であると認識しています。

そのための施策としては以下の事項を考えています。

- ・中国以外の海外パブリッシングを自社で行える体制の確立
- ・中国に関しては、タイトル毎に最適なパブリッシャーと提携しゲームをリリース
- ・海外の各地域ごとにマーケティングオフィスを設置
- ・世界で通用するIPの獲得

##### 3. ゲームタイトルのマーケティングの強化

ユーザーの獲得、ひいては収益の拡大のためには各ゲームタイトルのマーケティングの強化が不可欠であると考えています。

この課題への対応としては以下のものを考えています。

- ・一定のKPIを超えているゲームタイトルに関しては、TVCMを積極的に行い収益を拡大
- ・アニメや映画、他アプリ/ゲーム等とアライアンスを行い、クロスマーケティングを強化

##### 4. 革新的な技術への対応

当社グループが属するモバイルオンラインゲーム業界では、技術革新が絶え間なく行われており、継続的に事業を拡大していくためには様々な新技術に適時に対応していくことが必要であると認識しています。

この課題への対応としては以下のものを考えています。

- ・大規模・高負荷サービスの運用において従来より築き上げてきたインフラ面の技術を活用した、従来の常識にとらわれない多者間同期協力・対戦技術基盤の構築
- ・複数のゲームタイトルで使用できる共通基盤機能の拡充
- ・今後のゲームトレンドに適応する要素技術の蓄積

##### 5. サービスの健全性向上と消費者の安全性確保

当社グループが事業を展開するモバイルオンラインゲーム業界は、新しい産業であり未整備の課題や問題も内在しています。利用者が安全な環境で安心して利用できる環境を提供することが信頼性の向上、ひいては事業の発展に寄与するものと認識しています。

この対応として当社グループでは以下のものを考えています。

- ・ユーザーが安心して当社グループのサービスを利用できるよう、関係機関や同業他社と連携し、継続したガイドラインの見直しを検討・実施

## 3. 連結財務諸表

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当連結会計年度 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,517,756	7,249,978
売掛金	1,877,506	2,574,935
繰延税金資産	—	201,021
その他	479,619	490,504
貸倒引当金	△6,436	△460
流動資産合計	6,868,445	10,515,980
固定資産		
有形固定資産		
建物	285,214	254,526
減価償却累計額	△109,247	△137,057
建物(純額)	175,967	117,469
工具、器具及び備品	222,174	234,434
減価償却累計額	△112,485	△146,242
工具、器具及び備品(純額)	109,688	88,192
その他	50,383	45,034
減価償却累計額	△35,744	△34,852
その他(純額)	14,638	10,181
有形固定資産合計	300,294	215,843
無形固定資産		
ソフトウェア	168,734	261,979
ソフトウェア仮勘定	380,028	465,954
のれん	71,856	56,726
その他	672	672
無形固定資産合計	621,292	785,332
投資その他の資産		
投資有価証券	—	552
関係会社株式	151,967	55,000
その他の関係会社有価証券	152,807	229,837
繰延税金資産	—	487,677
敷金及び保証金	600,449	431,264
貸倒引当金	—	△5,953
その他	2,377	15,800
投資その他の資産合計	907,602	1,214,179
固定資産合計	1,829,189	2,215,355
資産合計	8,697,635	12,731,335

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当連結会計年度 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	723,964	1,255,495
短期借入金	2,750,000	—
未払金	526,975	1,064,728
未払法人税等	51,711	567,306
賞与引当金	101,407	93,620
その他	426,427	612,266
流動負債合計	4,580,486	3,593,416
固定負債		
長期借入金	97,288	60,000
その他	12,463	2,045
固定負債合計	109,751	62,045
負債合計	4,690,237	3,655,462
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,748,090	4,416,095
資本剰余金	2,443,846	4,111,851
利益剰余金	△570,623	1,222,615
自己株式	△626,131	△619,189
株主資本合計	3,995,181	9,131,373
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△41,218	△112,322
その他の包括利益累計額合計	△41,218	△112,322
新株予約権	44,699	15,538
少数株主持分	8,734	41,283
純資産合計	4,007,397	9,075,873
負債純資産合計	8,697,635	12,731,335

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年9月1日 至 平成25年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	20,993,462	21,374,646
売上原価	16,158,616	14,512,248
売上総利益	4,834,846	6,862,398
販売費及び一般管理費	6,058,370	4,698,825
営業利益又は営業損失(△)	△1,223,523	2,163,572
営業外収益		
受取利息	5,690	1,133
持分法による投資利益	—	32,030
為替差益	262,101	291,081
その他	51,458	83,731
営業外収益合計	319,250	407,977
営業外費用		
支払利息	24,306	6,541
持分法による投資損失	12,192	—
雑損失	1,075	979
営業外費用合計	37,574	7,521
経常利益又は経常損失(△)	△941,847	2,564,028
特別利益		
事業譲渡益	487,370	—
抱合せ株式消滅差益	—	16,395
自己新株予約権消却益	—	2,381
特別利益合計	487,370	18,776
特別損失		
事業構造改善費用	1,352,796	—
減損損失	255,375	728,445
投資有価証券評価損	—	14,497
その他	15,551	62,478
特別損失合計	1,623,723	805,421
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△2,078,200	1,777,383
法人税、住民税及び事業税	124,361	645,152
法人税等調整額	358,416	△688,699
法人税等合計	482,778	△43,547
少数株主損益調整前当期純利益又は少数株主損益調整前当期純損失(△)	△2,560,978	1,820,930
少数株主利益	2,847	27,691
当期純利益又は当期純損失(△)	△2,563,825	1,793,239

## 連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 平成24年9月1日 至 平成25年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前当期純利益又は少数株主 損益調整前当期純損失 (△)	△2,560,978	1,820,930
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△41,926	△66,246
その他の包括利益合計	△41,926	△66,246
包括利益	△2,602,905	1,754,684
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△2,607,192	1,722,135
少数株主に係る包括利益	4,287	32,548

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成24年9月1日 至 平成25年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	902,180	597,935	1,993,202	△588,056	2,905,261
当期変動額					
新株の発行	1,845,910	1,845,910			3,691,820
当期純利益又は当期純損失(△)			△2,563,825		△2,563,825
自己株式の取得				△55,296	△55,296
自己株式の処分				17,221	17,221
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	1,845,910	1,845,910	△2,563,825	△38,075	1,089,919
当期末残高	2,748,090	2,443,846	△570,623	△626,131	3,995,181

	その他の包括利益累計額		新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	2,148	2,148	1,360	4,447	2,913,218
当期変動額					
新株の発行					3,691,820
当期純利益又は当期純損失(△)					△2,563,825
自己株式の取得					△55,296
自己株式の処分					17,221
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△43,367	△43,367	43,339	4,287	4,259
当期変動額合計	△43,367	△43,367	43,339	4,287	1,094,179
当期末残高	△41,218	△41,218	44,699	8,734	4,007,397

当連結会計年度(自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,748,090	2,443,846	△570,623	△626,131	3,995,181
当期変動額					
新株の発行	1,668,005	1,668,005			3,336,010
当期純利益又は当期純損失(△)			1,793,239		1,793,239
自己株式の取得					—
自己株式の処分				6,942	6,942
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	1,668,005	1,668,005	1,793,239	6,942	5,136,191
当期末残高	4,416,095	4,111,851	1,222,615	△619,189	9,131,373

	その他の包括利益累計額		新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計 額合計			
当期首残高	△41,218	△41,218	44,699	8,734	4,007,397
当期変動額					
新株の発行					3,336,010
当期純利益又は当期純 損失(△)					1,793,239
自己株式の取得					—
自己株式の処分					6,942
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△71,103	△71,103	△29,161	32,548	△67,716
当期変動額合計	△71,103	△71,103	△29,161	32,548	5,068,475
当期末残高	△112,322	△112,322	15,538	41,283	9,075,873

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 平成24年9月1日 至 平成25年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前 当期純損失(△)	△2,078,200	1,777,383
減価償却費	578,948	382,605
減損損失	255,375	728,445
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	—	△16,395
自己新株予約権消却益	—	△2,381
事業構造改善費用	1,352,796	—
事業譲渡損益(△は益)	△487,370	—
のれん償却額	108,327	21,688
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△190	△48
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,680	△7,787
受取利息	△5,690	△1,133
支払利息	24,306	6,541
為替差損益(△は益)	△162,058	△290,507
関係会社株式売却損益(△は益)	14,647	—
持分法による投資損益(△は益)	12,192	△32,030
売上債権の増減額(△は増加)	△101,609	△666,282
仕入債務の増減額(△は減少)	273,183	539,461
投資有価証券評価損益(△は益)	—	14,497
未払金の増減額(△は減少)	24,758	485,483
その他	85,568	53,207
小計	△93,334	2,992,748
利息の受取額	1,412	1,133
利息の支払額	△22,499	△5,909
法人税等の支払額	△1,201,697	△163,380
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,316,117	2,824,592
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	—	△15,050
関係会社株式の取得による支出	△33,000	—
その他の関係会社有価証券の払込による支 出	△90,000	△45,000
有形固定資産の取得による支出	△234,347	△17,429
無形固定資産の取得による支出	△1,965,097	△849,563
敷金及び保証金の差入による支出	△243,087	△140,738
敷金及び保証金の回収による収入	4,478	157,289
貸付金の回収による収入	23,549	—
事業譲受による支出	△51,516	—
事業譲渡による収入	387,998	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得 による支出	△304,177	—
その他	△2,744	△1,057
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,507,945	△911,549

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年9月1日 至 平成25年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	2,750,000	△2,750,000
リース債務の返済による支出	△5,717	△7,345
長期借入金の返済による支出	△64,632	△41,680
ストックオプションの行使による収入	166,486	153,085
株式の発行による収入	3,493,141	3,150,770
自己株式の取得による支出	△55,296	—
自己株式の売却による収入	24,092	16,600
新株予約権の発行による収入	55,639	2,287
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,363,713	523,717
現金及び現金同等物に係る換算差額	71,027	184,331
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,610,678	2,621,093
現金及び現金同等物の期首残高	1,901,631	4,512,310
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	109,136
現金及び現金同等物の期末残高	4,512,310	7,242,539

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービスの提供形態別のセグメントから構成されており、モバイルオンラインゲームを提供する「ゲーム事業」、大規模・高負荷対応インフラ「DSAS (ディーサス)」サービスの提供などから構成される「その他事業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

事業セグメントの利益は売上総利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成24年9月1日 至 平成25年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		連結損益計算書 計上額 (注) 1
	ゲーム事業	その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	19,932,936	1,060,526	20,993,462
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	19,932,936	1,060,526	20,993,462
セグメント利益	4,471,862	362,983	4,834,846
その他の項目			
減価償却費	522,588	15,340	537,928

(注) 1. セグメント利益は、連結損益計算書の売上総利益と一致しているため、差異調整は行っておりません。

2. セグメント資産、負債の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象となっていないため、記載しておりません。

当連結会計年度(自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		連結損益計算書 計上額 (注) 1
	ゲーム事業	その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	21,316,937	57,708	21,374,646
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	21,316,937	57,708	21,374,646
セグメント利益	6,854,701	7,697	6,862,398
その他の項目			
減価償却費	319,579	138	319,718

(注) 1. セグメント利益は、連結損益計算書の売上総利益と一致しているため、差異調整は行っておりません。

2. セグメント資産、負債の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象となっていないため、記載しておりません。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 平成24年9月1日 至 平成25年12月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	アジア	その他	合計
235,691	59,594	5,008	300,294

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ディー・エヌ・エー	6,283,435	ゲーム事業
Apple Inc.	5,078,584	ゲーム事業
Google Inc.	3,324,310	ゲーム事業
グリー株式会社	2,105,838	ゲーム事業

当連結会計年度(自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	アジア	その他	合計
165,726	47,284	2,832	215,843

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Apple Inc.	8,624,575	ゲーム事業
Google Inc.	7,819,599	ゲーム事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 平成24年9月1日 至 平成25年12月31日)

「ゲーム事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、1,184,874千円であります。当該減損損失のうち929,499千円については連結損益計算書の事業構造改善費用に含めております。

当連結会計年度(自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日)

「ゲーム事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、706,507千円であります。

報告セグメントに含まれない全社資産の固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、21,938千円であります。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 平成24年9月1日 至 平成25年12月31日)

(単位：千円)

	ゲーム事業	その他事業	合計
当期償却額	108,327	—	108,327
当期末残高	71,856	—	71,856

(注) 上記の他、会計制度委員会報告第7号「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」(最終改正平成23年1月12日 日本公認会計士協会)第32項の規定に基づき、のれんを225,207千円償却し、特別損失の「事業構造改善費用」に計上しております。これによるのれんの償却額は、ゲーム事業セグメントにおける減少であります。

当連結会計年度(自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日)

(単位：千円)

	ゲーム事業	その他事業	合計
当期償却額	21,688	—	21,688
当期末残高	56,726	—	56,726

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成24年9月1日 至 平成25年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日)
1株当たり純資産額	124.07円	249.71円
1株当たり当期純利益金額又は 当期純損失金額(△)	△93.58円	52.15円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	—	50.21円

- (注) 1. 前連結会計年度における潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額又は当期純損失金額(△)及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成24年9月1日 至 平成25年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日)
1株当たり当期純利益金額又は 当期純損失金額(△)		
当期純利益又は 当期純損失(△)(千円)	△2,563,825	1,793,239
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は 当期純損失(△)(千円)	△2,563,825	1,793,239
普通株式の期中平均株式数(株)	27,396,892	34,387,585
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	1,329,797
(うち新株予約権)(株)	—	(1,329,797)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	平成25年7月17日取締役会 決議第8回新株予約権 新株予約権の数4,369個 当社普通株式436,900株 平成25年11月29日取締役会 決議第10回新株予約権 新株予約権の数1,000,000個 当社普通株式1,000,000株 平成25年11月29日取締役会 決議第11回新株予約権 新株予約権の数1,000,000個 当社普通株式1,000,000株	平成25年7月17日取締役会 決議第8回新株予約権 新株予約権の数4,369個 当社普通株式436,900株 平成25年11月29日取締役会 決議第10回新株予約権 新株予約権の数1,000,000個 当社普通株式1,000,000株 平成25年11月29日取締役会 決議第11回新株予約権 新株予約権の数1,000,000個 当社普通株式1,000,000株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。